

2 1 mの重さが2.14 kgのパイプがあります。  
このパイプ3.8 mの重さは何kgですか。

○ 式を書きましょう。 式  $2.14 \times 3.8$

○ どうしてその式になったのか、理由を説明しましょう。

● 「比例」や数直線の図を使って説明できるかな？

例) 重さは、パイプの長さ按比例すると考える。パイプの長さが1mから3.8mで3.8倍になっているから、  
重さも3.8倍になる。だから、 $2.14 \times 3.8$ になると考えた。

計算のしかたを考えましょう。

● 前の時間では小数の計算を整数だけの計算にしたね。この考えをもとにまず自分で考えてみよう。


1 右の計算のしかたを説明しましょう。

例) 2.14を100倍、3.8を10倍して、 $214 \times 38$ の積8132  
を求める。8132を1000でわる。

$$\begin{array}{r}
 2.14 \times 3.8 = 8.132 \\
 \downarrow \times 100 \quad \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 1000 \quad \div 1000 \\
 214 \times 38 = 8132
 \end{array}$$

2.14 × 3.8の積は、2.14を100倍し、3.8を10倍して  
214 × 38の計算をし、積を1000でわれば求められます。

● 整数の計算でできるように、かけ算の性質を使ったんだね。

$$\begin{aligned}
 2.14 \times 3.8 &= (2.14 \times 100) \times (3.8 \times 10) \div 1000 \\
 &= 214 \times 38 \div 1000 \\
 &= 8.132
 \end{aligned}$$

答え 8.132 kg

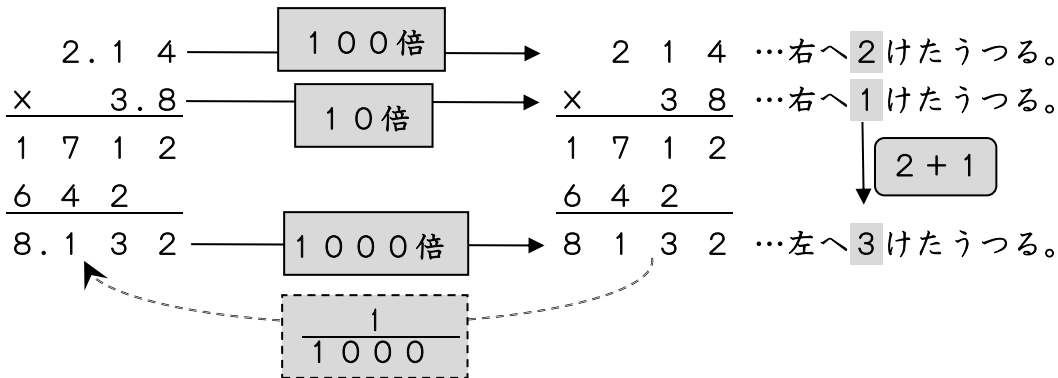
続きは次回でもいいよ。



2.14 × 3.8の筆算のしかたを考えましょう。

- まず、整数の214 × 38の筆算をして、それを2.14 × 3.8になおすことを考えよう。

＜小数点の位置＞



- 上の考えをみて、自分なりに筆算のしかたを考えて、説明してみよう。

例) まず、214 × 38の筆算をする。積の8132の2の右に小数点があると考える。8132 を1000でわるから、小数点は左へ3けたうつせばいい。

- 教科書 45 ページの小数をかける筆算のしかたをみて、筆算のしかたをまとめよう。

2 176 × 54 = 9504 をもとにして、次の積を求めましょう。

① 17.6 × 54 = 950.4                      ② 176 × 5.4 = 950.4

③ 1.76 × 5.4 = 9.504

3 正しい積になるように、積に小数点をうちましょう。

① 
$$\begin{array}{r} 1.7 \\ \times 2.3 \\ \hline 51 \\ 34 \\ \hline 3.91 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 76.5 \\ \times 8.3 \\ \hline 2295 \\ 6120 \\ \hline 634.95 \end{array}$$



● 今日の学習をふり返って、感想を線で囲もう。

□ むずかしかった

△ 少しむずかしかった

○ だいたいわかった

◎ よくわかった

● よくわからなかったところ、むずかしかったところがあれば、先生に質問して、なっとくするまで考えよう。

---

---

---